

山口大学図書館報

Yamaguchi University
Library BulletinLIBRARY
NEWS

ISSN 0388-5569

Oct 2014
No. 86

目 次

山口大学図書館の最近の話題……………	1	平成 25 年度図書館各種講習会……………	9
総合図書館における増改築工事……………	3	平成 25 年度図書館業務統計……………	10
平成 25 年度図書館トピックス……………	5	平成 25 年度本学関係教員著作寄贈図書…	12
平成 25 年度図書館オリエンテーション・		平成 25 年度会議・研修・人事等……………	14
ガイダンス……………	8		

「山口大学図書館の最近の話題」

山口大学図書館長 山内 直樹

日頃から山口大学図書館をご利用いただきありがとうございます。今回は4月に全面オープンしました総合図書館の話題、並びに図書館が大きな役割を担っています学術基盤資料の整備に関する最近の課題についてご紹介させていただきます。

山口大学総合図書館は増改築を終え、本年3月18日（火）にオープニングセレモニーを執り行い、4月1日（火）から全面開館となりました。新しい図書館では書庫棟の増築により蔵書スペースが拡大し、長時間学習に対応できる様々な施設が整備されたことに加え、新たな機能を持った施設、“ラーニング・コモンズ”（アカデミック・フォレスト）が設置されました。ラーニング・コモンズとは“学びの共有スペース”であり、最近全国の大学において整備されているグループ学習のためのスペースです（写真1）。

ここでは学生の主体的な問題発見と解決を導くアクティブ・ラーニングを支える場としての役割を果たすことが求められており、図書館としても皆さんのグループ学習を支えるよう試行錯誤を繰り返しながらサポート体制を充実していく所存です。



（写真1）アカデミック・フォレストの利用風景

また、図書館では各種研究・教育・学習成果の発表や異分野の研究者などが交流する場として、アカデミック・フォレストの他にも飲食可能な学習スペースとして新たに設置した“りぶカフェ”等の活用を進めています。これまで、共育ワークショップや研究サロンなどを含め多くのイベントが開催されており、これからも教職員・学生の皆さんがこれら施設を利用していただければ幸いです(写真2、3)。



(写真2) アカデミック・フォレストにてビブリオバトル



(写真3) りぶカフェにて研究サロン開催

続きまして学術基盤資料の整備に関する話題をご紹介します。電子ジャーナル・データベースを中心とした学術資料は教育・研究を進める上で欠くことができない必須の基盤資料です。本学ではエルゼビアなどの大手出版社の電子ジャーナルやデータベースを中

心として多くの学術資料を皆さんに提供しています。

ところが毎年の値上がり分に加え、円安の影響で海外の出版社の電子ジャーナル・データベースは価格が高騰しました。これまで円高の影響により経費が抑えられ、購入を続けることができていました全学の共通的学術基盤資料(基盤雑誌1)が、平成27年度には今までの予算の範囲では購入できなくなる状況が出てきました。

そこで、図書館専門委員会では大学として共通の真に必要な学術基盤資料を選定するため、平成25年度に基本方針と選定基準を定め、平成26年度には学術基盤資料について全部局に対しアンケート調査を行いました。そして、これまで基盤雑誌1として購入していた全学に共通な電子ジャーナル・データベースを基本とし、アンケート結果等を含め選定基準に従い総合的に判断し、さらに、大学執行部からも学術基盤資料の重要性を認めていただき、平成27年度に契約する学術基盤資料を大学として決定しました。この間、契約方法の見直し等も行い、できるだけ多くの学術基盤資料が引き続き利用できるよう努力しました。しかしながら、選定の過程で、これまで基盤雑誌1として揃えてきました一部資料をやむを得ず中止しなければならない事態となりましたが、ご理解いただければ幸いです。

また、基盤雑誌2として各部局にて購入している資料についても、平成27年度に予定される部局の改組を考慮した予算配分ルールの見直し、今後の課題となることも補足しておきます。

今回は図書館を取り巻く二つの大きな話題をご紹介しましたが、これからも大学の“知の広場”として多くの皆様に利用していただけるよう環境整備に努める所存でございます。今後とも、山口大学図書館にご支援を賜りますようお願いいたします。

総合図書館における増改築工事

1. はじめに

平成 25 年度は 2 年間に渡る増築・改修工事を終えて、総合図書館が新しく生まれ変わった年となった。その道程は厳しく、水害など想定外の出来事もあったが、多くの方々のご協力により乗り越えることができた。その過程の一部をトピックスとして下記に取り上げた。

2. 増築・改修工事の概要

平成 23 年 12 月末工事決定

平成 24 年 1～ 8 月ヒアリング、設計図完成

同 9～11 月埋文調査、建設業者決定

同 11 月契約、着工

平成 25 年 9 月 1 号館完成

同 11 月 3 号館完成、外構工事

同 12 月末 竣工

増改築中、約 80 万冊の資料を移動した。特に完全休館中にも利用が多く見込まれる資料は、臨時資料室に配架したほか、2 号館（工事区域外）に仮置きして職員の出納により提供した。その他の資料約 50 万冊は段ボールに詰めて、学内の別建物に保管した。

3. 工事中の図書館サービスについて

図書館開館状況

平成 24 年 10 月 1 日 部分開館

平成 25 年 2 月 25 日 完全休館

平成 25 年 10 月 1 日 部分開館

平成 26 年 4 月 1 日 リニューアル開館

部分開館中は学習室や書庫の一部を開放したが、建物全体が工事区域となった約 7 ヶ月間は完全休館せざるを得なかった。その間は、大学教育機構の協力を得て共通教育棟や共通教育講義棟や、メディア講義室、大学会館等の一部を臨時資料室、臨時学習室として提供するとともに、各学部にも学習室の確保をお願いした。

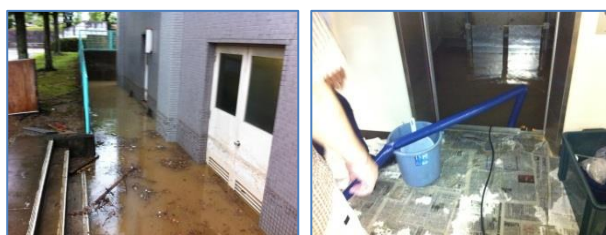
また、事務室も学内 4 ヶ所に分散してサービスを行った。



4. 集中豪雨による水害

平成 25 年 7 月 28 日（日）早朝からの豪雨により、吉田キャンパス内を流れる用水路が氾濫し、2 号館地下 1 階が床上浸水した。浸水は床上 30 cm に上ったため、電動集密書架の最下段が水没したほか、改修工事のため通路部分に段ボール詰めで仮置きしていた資料も水損被害を受けた。また、被害は電動集密書架や除湿器、エアコン、エレベーター等の機器類にも及んだ。

図書館では、同日の浸水直後から職員総出による館内の排水作業を行い、翌 29 日（月）から本格的に水損被害にあった図書の調査確認と搬出及び乾燥作業を実施した。



5. 水損資料の状況

被害を受けた資料は、和書、洋書及び中国書の一般図書で、4万5千冊を超えた。全資料を救出するのは不可能と判断したため、入手が難しい洋書、中国書を中心に上層階へ移動、乾燥作業を行い、特に破損が甚大な資料については、専門業者へクリーニングと洗浄、乾燥・滅菌処理を依頼した。しかし、中にはページ同士が固着し、剥離することもできないものもあり、そのような資料はやむなく廃棄した。最終的に、水損資料のうち業者による乾燥・滅菌処理を行ったものが5,102冊、その中で再利用したものが3,609冊、水害による廃棄資料数は41,956冊となった。廃棄資料の補てんについては、全集の一部が欠けたものを中心に209冊を購入した。また、東京都立中央図書館より221冊、宮内庁書陵部より15冊寄贈いただいた。



張りつきにより利用不可



カビ・しみの付着

6. ラーニング・コモンズ勉強会の開催

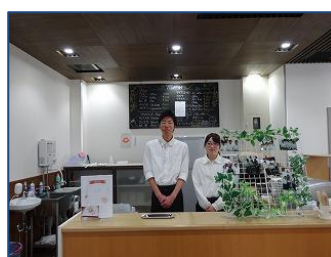
平成25年7月から8月にかけて、図書館職員と学生協働メンバーによるラーニング・コモンズ勉強会を開催した。総合図書館に新設されるラーニング・コモンズ（アカデミック・フォレスト）の効果的な活用を目指し、本学及び他大学の状況や大学教育の現状などを学ぶとともに、必要となる設備や運用方法、学内へのアピール方法などについて検討した。また、アドバイザーとして、大学教育センター林透准教授にも加わっていただいた。



7. 「図書館カフェ」のプレオープン

学生が企画から運営まで行う「図書館カフェ」の提案が「山口大学おもしろプロジェクト」に採択され、平成26年1月8日（水）から、りぶカフェに於いてプレオープンした。図書館では設備面を整えたり、相談に乗るなど、学生の“やってみよう”を支援した。

1ヶ月間の試行を得て、4月から図書館カフェ『栞』として活動している。



8. 竣工記念式典

平成26年3月18日（火）総合図書館アカデミック・フォレストにて、「増築・改修竣工記念式典」を挙行了。

当日は、丸本学長（当時）や長澤文部科学省研究振興局参事官付学術基盤整備室長、古田国立大学図書館協会会長を初めとする来賓の方など、学内外から多くの方に出席いただき、学生も交えて新しい図書館の完成を祝した。



増築・改修竣工記念式典の除幕式

なお、改修の様子はブログにて随時発信、公開した。

<改修日記ブログ>

<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/repair-blog/>

（情報環境部 学術情報課）

平成 25 年度図書館トピックス

○平成 25 年度学生協働活動記録

・学生協働とは

学生協働は、キャリア形成支援と図書館のサービス充実を目的に、平成 18 年度に発足した。現在、総合図書館、医学部図書館、工学部図書館の 3 館で、カウンター業務のほか、資料の修理や企画展示など、様々な活動を行っている。

・学生協働を支える体制

さまざまな立場の職員が学生協働の運営に関わり、活動に対して、より質の高いサポートを行うため、係や職位を超えた学生協働ワーキンググループを結成した。3 館合同で定例会を実施し、情報共有や意見交換を行っている。

・総合図書館改修に伴う活動

平成 25 年度は、総合図書館学生協働にとって受難の年であった。平成 24 年 2 月から平成 25 年 9 月末まで総合図書館は改修工事により完全休館となり、その間の利用者対応は困難を極めた。カウンター業務は小さな臨時資料室の小さな机に移動となり、本の展示スペースも十分でなく、活動規模は縮小せざるをえなかった。事務室と臨時資料室は階が分かれていたため、職員と学生の交流も希薄になりかけた。

そんな状況にあっても、学生協働は図書館のサービスについて、自分たちにできることを模索し続けた。より良い状態で資料を提供するために図書の修理方法を勉強する会を開いたり、ポップを壁に貼っておすすめ本を紹介したり、スペースや蔵書数に制約がある中でも、工夫して資料提供に関する支援を続けた。また、臨時資料室や学習スペースの存在を広報するため、案内カードを入れたティッシュを学内で配ったり、より学生のニーズにマッチした図書を選ぶため、書店に出向いて直接図書を選ぶブックハンティングを行ったりした。さらには、「臨時資

料室をよくするワーキンググループ」を立ち上げ、自動貸出返却装置の使い方マニュアルを作成した。このマニュアルは現在も館内で掲示されている。なお、上記のワーキンググループは、現在「新しい図書館をよくするワーキンググループ」に名称を変え、職員とともにより良い図書館づくりに取り組んでいる。

また、改修中に別場所に保管していた図書を再配架する際には、学生協働も移動作業に参加し、利用者に速やかに資料を提供できるよう尽力した。



図書の修理



臨時資料室・学習スペース
広報のティッシュ配り

・学生協働交流シンポジウムを開催

9 月には、島根大学、島根県立大学及び梅光学院大学との主催で、第 3 回学生協働シンポジウム「私たちの手でつくり出す図書館の形 - 人を惹きつける空間を目指して -」を開催した。山口大学からは、臨時資料室における創意工夫の数々を発表するとともに、他大学と交流することで新しい図書館で自分たちは何ができるか考えるきっかけとなった。

平成 25 年 9 月 5 日（木）～6 日（金）

会場：島根大学

参加者：全国の大学から約 100 名



島根大学正門にて



ワールドカフェの様子

・部分開館後の活動

平成 25 年 10 月の部分開館後は、カウンター業務や図書の修理、企画展示のほか、職員と協力し、館内で ML 連携特別展「図書館が繋ぐもの - 本を未来へ -」のパネルを作成した。

また、それに関連して、11 月 3 日（日）の姫山祭では豆本づくりのワークショップを行った。

平成 26 年 3 月の竣工記念式典では、学生代表として挨拶を行った。



式典での学生代表挨拶



豆本づくり

・医学部図書館学生協働

医学部図書館学生協働は、カウンター業務やガイダンス支援のほか、国家試験対策コーナーの新設など、精力的に活動した。特に、医学系 DVD 資料の広報活動は効果が大きく、貸出数が昨年度比の約 4 倍に増加した。



カウンター業務



DVD 資料の広報

・工学部図書館学生協働

工学部図書館学生協働は、職員とともに蔵書点検等の作業を行った。これまで大きな活動はなかったが、平成 26 年度には新たなメンバーを迎え、更なる活動に取り組む予定である。

学生協働の活動の詳細はブログを参照のこと
<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/blog/>

(学生協働ワーキンググループ)

○山口県大学 ML 連携特別展の開催

平成 25 年 11 月 3 日（日）から平成 26 年 1 月 31 日（金）まで、平成 25 年度山口県大学 ML 連携特別展「図書館が繋ぐもの～本を未来へ～」を開催した。「再生」をテーマとした展示で、学生協働の学生と図書館職員が協力し、図書館が所蔵する貴重資料の修復事業及び水害によって被災した資料の再生事業についてのパネルを展示した。また学生と職員によるワークショップ及びミュージアムトークを実施した。



(学術情報課)

○第 1 回国際学術論文促進セミナーの開催

平成 25 年 11 月 26 日（火）、大学情報機構と大学研究推進機構の共催により、第 1 回国際学術論文促進セミナーが 3 キャンパスにて遠隔中継で実施され、約 186 名の参加があった。

また、図書館では特別プログラムとして「Scopus 講習会」を 11 月 28 日（木）と 29 日（金）の 2 日間で計 3 回実施し、28 名が参加した。



(情報サービス係)

○医学部保護者説明会の開催

平成 26 年 2 月 2 日（日）に医学科 4 年生・5 年生の保護者 105 名を対象とした医学部図書館見学会を実施した。当日は小林副館長や図書館職員、学生協働の学生が説明を行った。



（医学情報係）

○リポジトリの動向

山口大学学術機関リポジトリ（YUNOCA）について、年間論文登録数は例年と同様であったものの、年間閲覧数が昨年度の約 1.6 倍と大幅な増加を見せ、機関リポジトリの利用が高まっていることを示す結果となった。

山口県大学共同リポジトリ（維新）は、新たに大島商船高等専門学校（平成 25 年 11 月参加）と宇部フロンティア大学（平成 26 年 3 月参加）の 2 大学が参加し、参加大学数は 12 大学となった。

また、平成 25 年 4 月に学位規則の改正が施行され、大学等は学位授与後 3 カ月以内に博士論文の本文要旨及び審査結果要旨を、また、学位を授与された者は原則として学位取得後 1 年以内に大学等の協力を得て全文の電子データをインターネットで公表することが義務付けられた。これを受けて、本学では「YUNOCA」と「維新」の改修を行うことで対応をした。



（情報支援係）

○貴重資料及び準貴重資料の追加指定

下記の資料を第 8 回図書館専門委員会にて、貴重資料・準貴重資料に指定した。

＜貴重資料＞

総合図書館所蔵「長三洲宛木戸孝允書翰集」、「木戸孝允文書由来」

木戸孝允が長三洲に宛てた書翰等を卷子に仕立てたもので、三洲の末裔長壽吉氏により山口大学に寄贈され、昭和 42 年、当時の附属図書館文理學部分館が受け入れた。長らく活用されないままだったが、平成 20 年度にその存在が再確認された。活字化されていない新出資料 1 点を含む貴重な資料である。

＜準貴重資料＞

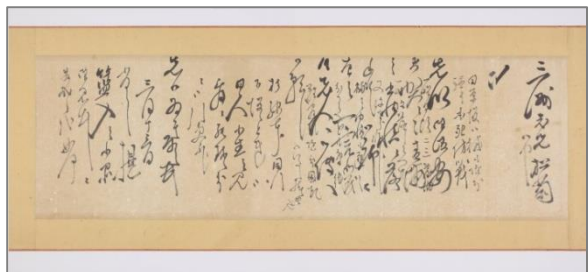
医学部図書館所蔵「四熊文庫」及び「浅山文庫」

四熊（しくま）文庫、浅山文庫は、山口県の医家、四熊家、浅山家から山口県立医科大学（現山口大学医学部）に寄贈された古医書群で、江戸時代の医学書や西洋医学書などを含む。幕末から明治初期にかけての医学及び医学教育の資料として貴重なものである。

なお、図書館では貴重資料およびそれに準ずる和古書・漢籍の一部をデジタル化し、インターネットで公開している。

貴重資料デジタルコレクション

(<http://rar.lib.yamaguchi-u.ac.jp/rb/Index.e>)



「松菊公書翰」より

（情報管理係）

平成 25 年度図書館オリエンテーション・ガイダンス

◎図書館新入生オリエンテーション

新入生を対象に2日間(平成25年4月4日(木)～5日(金))にわたって図書館オリエンテーションを実施した。今年度は総合図書館改修中により図書館内を案内することができないため、共通教育の教室にて開催した。主に総合図書館改修中における資料の利用方法や学習スペースの場所、PCの利用方法などを配布資料とスライドを用いて説明した。

参加率は前年度を超える結果となり、新入生からは新しい図書館を期待する声が聞かれた。

参加者数 1,887 人 (参加率 95.4%)

◎図書館ガイダンス

今年度も、情報リテラシー演習を担当する先生方の協力を得て、情報リテラシー演習や基礎セミナー等の授業時間の一部を使い、基礎的な情報探索法などのガイダンスを実施した。

ガイダンスの内容については、事前に担当教員と打ち合わせを行い実施した。最終的には100%に近い新入生の受講率を得られた。

新入生ガイダンス

受講者数 1,930 人 (参加率 97.18%)

なお、今年度は総合図書館改修中により休館中のため、会場はすべて教室を使用した。学生にはノートPCを持参してもらい、情報コンセントに接続して演習を行った。ネットワークへの接続不具合を想定してサポート体制を組んでいたが、大きなトラブルは発生しなかった。

後期には、総合図書館も部分開館が始まり、新しい図書館での利用方法の周知・利用促進を目的としたガイダンスを行った。

医学部図書館では、4月にコメディカル対象の文献検索講習会等を実施し、10月は看護学専攻、12月は検査技術学専攻の授業時間1コマを

確保しガイダンスを実施した。工学部図書館でも6月から7月に文献検索講習会を実施し、昨年度よりも多くの参加があった。

新入生オリエンテーションの実施状況

学部別	平成 25 年度	
	参加者数	参加率
人文学部	186	98.9%
教育学部	234	94.3%
経済学部	379	97.4%
理学部	214	92.6%
医学部	217	93.1%
工学部	522	94.2%
農学部	102	99.0%
共同獣医学部	33	100.0%
計	1,887	95.4%

※参加者数はアンケート回収枚数

医学部・工学部図書館ガイダンス実施状況

担当館	受講者数	回数	概要
医学部図書館	231	13	個別講習 4月 コメディカル 10月 看護学専攻 12月 検査技術学専攻
工学部図書館	154	17	6～7月 文献検索講習会



(情報サービス係)

平成 25 年度図書館各種講習会

SciFinder 講習会

実施日	時間	会場		参加者数
6/18(火)	①10:20-11:50	常盤	工学部図書館インフォメーションルーム	14
	②14:20-16:00			26
6/19(水)	①10:20-11:50	吉田	メディア基盤センター 2F 演習室	20
	②14:20-16:00			15

日経 NEEDS Financial Quest 講習会

実施日	時間	会場		参加者数
10/10(木)	12:50-14:20	吉田	メディア基盤センター 2F 演習室	39

企業情報データベース eol 講習会

実施日	時間	会場		参加者数
11/18(月)	14:30-16:00	吉田	メディア基盤センター 2F 演習室	14

論文執筆に役立つ Scopus 講習会

実施日	時間	会場		参加者数
11/28(木)	14:30-16:00	常盤	工学部図書館インフォメーションルーム	9
	17:00-18:30	小串	小串センター演習室基礎研究棟 1F	10
11/29(金)	10:30-12:00	吉田	メディア基盤センター 2F 演習室	9

◎SciFinder 講習会

平成 25 年 6 月 18 日 (火) から 19 日 (水) にわたって、一般社団法人化学情報協会から講師を招き吉田キャンパスと常盤キャンパスにて SciFinder の講習会を開催した。

化学情報データベースである SciFinder の概要や文献検索、物質検索、反応検索機能などについて、検索実習を交えながら説明された。

◎日経 NEEDS Financial Quest 講習会

平成 25 年 10 月 10 日 (木)、日経メディアマーケティング株式会社から講師を招き、吉田キャンパスにて日経 NEEDS Financial Quest の講習会を開催した。基本的な概要説明の後、企業情報や株式・債権の検索と検索結果のダウンロード方法、コードブックの使い方について説明された。

◎企業情報データベース eol 講習会

平成 25 年 11 月 18 日 (月) に株式会社プロネクサスから講師を招いて講習会を実施した。今回の講習会では、データベースの基本的な使い方に加え、就職活動のための企業分析としての使い方も説明された。

◎論文執筆に役立つ Scopus 講習会

平成 25 年 11 月 28 日 (木) から 29 日 (金) にわたって、エルゼビア・ジャパン株式会社から講師を招き、吉田・小串・常盤の 3 キャンパスにて Scopus 講習会を実施した。

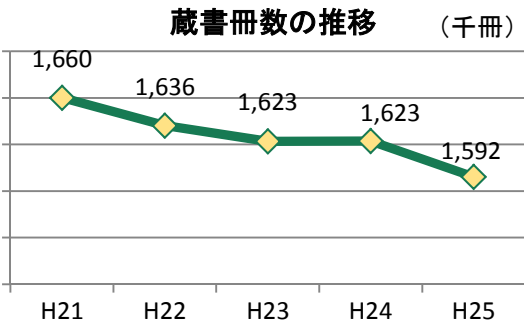
この講習会は同日に開催された第 1 回国際学術論文促進セミナーの特別プログラムとして開催した。

(情報サービス係)

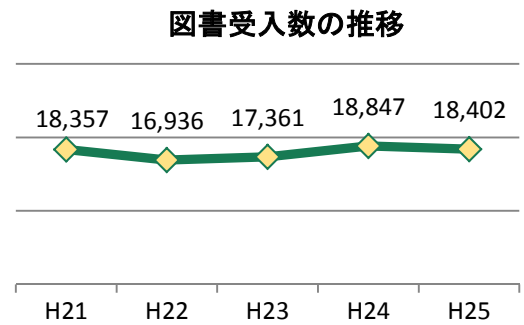
図書館業務統計（平成25年度）

— 基盤統計 —

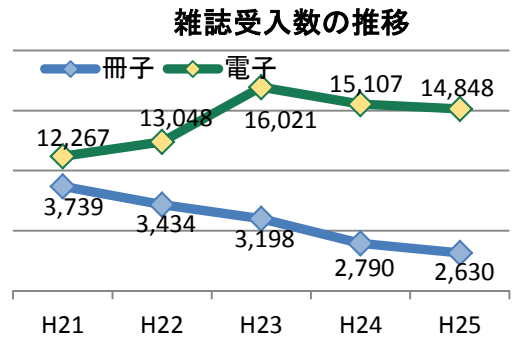
蔵書数		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
図書（冊）	和書	940,407	90,455	96,828	1,127,690
	洋書	336,409	72,237	55,761	464,407
	計	1,276,816	162,692	152,589	1,592,097
雑誌（冊子種類数）	和雑誌	17,562	2,137	1,413	21,112
	洋雑誌	6,421	2,213	1,679	10,313
	計	23,983	4,350	3,092	31,425



受入数		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
図書受入数（和洋区分別）	和書	11,522	1,423	2,312	15,257
	洋書	2,552	146	447	3,145
	計	14,074	1,569	2,759	18,402
図書受入数（受入区分別）	購入	10,360	1,179	2,415	13,954
	寄贈	3,123	118	175	3,416
	その他	591	272	169	1,032
	計	14,074	1,569	2,759	18,402
雑誌受入数（冊子和洋別）	和雑誌	1,670	228	196	2,094
	洋雑誌	377	93	66	536
	計	2,047	321	262	2,630
雑誌受入数（冊子受入別）	購入	1,025	208	174	1,407
	寄贈	1,011	112	87	1,210
	その他	11	1	1	13
	計	2,047	321	262	2,630

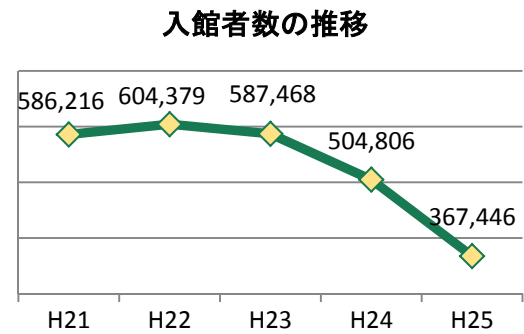


電子ジャーナル		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
提供数（有料契約分）	国内誌	5,232	0	2	5,234
	国外誌	9,511	45	58	9,614
	計	14,743	45	60	14,848



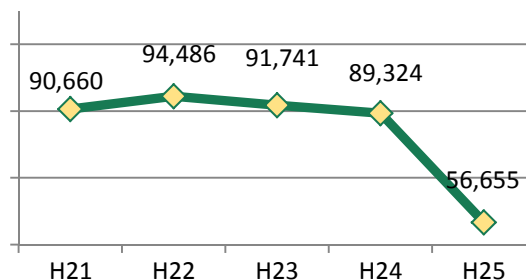
— 利用統計 —

入館		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
開館日数	平日	117	241	237	595
	土曜	21	46	30	97
	日曜祝日	29	63	39	131
	計	167	350	306	823
入館者数	学生	127,954	111,804	96,998	336,756
	教職員	8,695	8,387	3,470	20,552
	学外者	3,145	2,976	4,017	10,138
	計	139,794	123,167	104,485	367,446



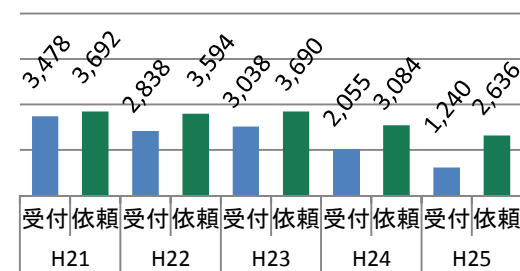
貸出		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
貸出冊数	平日	24,539	7,824	15,689	48,052
	土日祝	3,105	588	1,788	5,481
	無人	0	3,122	0	3,122
	計	27,644	11,534	17,477	56,655
貸出冊数 (身分別)	学生	24,663	9,339	15,229	49,231
	教職員	1,989	1,822	1,594	5,405
	学外者	992	373	654	2,019
	計	27,644	11,534	17,477	56,655

貸出冊数の推移

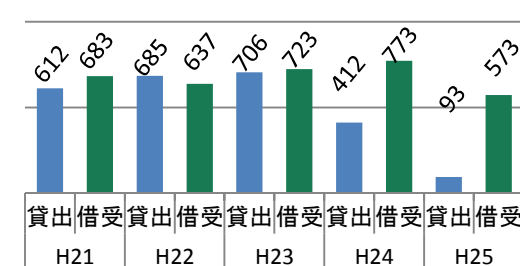


相互協力		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
文献複写 (受付件数)	国内大図	73	726	232	1,031
	国内ほか	3	153	53	209
	国外	0	0	0	0
	計	76	879	285	1,240
文献複写 (依頼件数)	国内大図	1,490	751	288	2,529
	国内ほか	35	14	43	92
	国外	7	8	0	15
	計	1,532	773	331	2,636
現物貸借 (受付件数)	国内大図	58	6	21	85
	国内ほか	1	2	5	8
	国外	0	0	0	0
	計	59	8	26	93
現物貸借 (依頼件数)	国内大図	505	3	51	559
	国内ほか	9	1	4	14
	国外	0	0	0	0
	計	514	4	55	573

文献複写件数の推移



現物貸借件数の推移



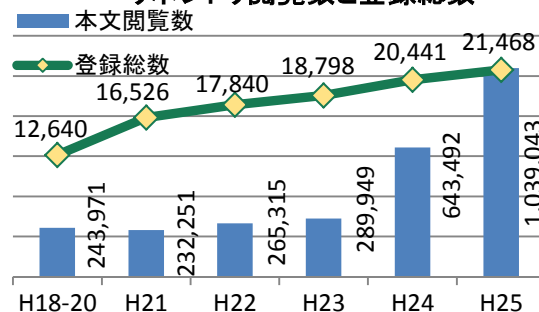
※総合図書館は増改築工事に伴う資料移動や事務室移転のため、
下記のとおり、完全休館及び部分開館が行われた。
完全休館 平成25年4月1日～9月30日
部分開館 平成25年10月1日～平成26年3月31日

リポジトリ		H18-20	H21	H22	H23	H24	H25	計
閲覧・登録数	閲覧 ※1	243,971	232,251	265,315	289,849	643,492	1,039,043	2,713,921
	登録 ※2	12,640	3,886	1,314	958	1,643	1,027	21,468

※1 プログラムによるアクセス数を含まない各年度毎の本文閲覧数

※2 登録数は、各年度毎のメタデータ登録数

リポジトリ閲覧数と登録総数



平成 25 年度 本学関係教員著作寄贈図書

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日) ※敬称略

寄贈者（寄贈順）	書名等
額綱厚 （山口大学理事・副学長）	終わらない「占領」：対米自立と日米安保見直しを提言する！ / 孫崎享、木村朗編；G. マコーマック [ほか執筆]。― 法律文化社、2013. 6.
額綱厚 （山口大学理事・副学長）	日本降伏：迷走する戦争指導の果てに / 額綱厚著。― 日本評論社、2013. 12.
額綱厚 （山口大学理事・副学長）	日本はなぜ戦争をやめられなかったのか：中心軸なき国家の矛盾 / 額綱厚著。― 社会評論社、2013. 12.
額綱厚 （山口大学理事・副学長）	私たちの戦争責任：「昭和」初期二〇年と「平成」期二〇年の歴史的考察 / 額綱厚著。― 凱風社、2009. 4.
林透 （大学教育センター）	高等教育における視学委員制度の研究：認証評価制度のルーツを探る / 林透著。― 東信堂、2014. 3.
福屋利信 （留学生センター）	植民地時代から少女時代へ：反日と嫌韓を越えて / 福屋利信著。― 太陽出版、2013. 7.
辰己佳寿子 （エクステンションセンター）	いなかと出逢う：国際開発学会第 7 回春季大会報告書 / 松井範惇、辰己佳寿子編。― 国際開発学会第 7 回春季大会実行委員会、山口大学大学院東アジア研究科、2006. 8.
辰己佳寿子 （エクステンションセンター）	国境をこえた地域づくり：グローバルな絆が生まれた瞬間（とき） / 西川芳昭、木全洋一郎、辰己佳寿子編。― 新評論、2012. 3.
辰己佳寿子 （エクステンションセンター）	第 2 回文化と歴史そして生態を重視したもう一つの草の根の農村開発に関する国際会議：山口県阿武町 2011 年 8 月 1 日～3 日：報告書 / 安藤和雄、辰己佳寿子、市川昌広。― 高知大学自然科学系農学部「中山間」プロジェクト。
池田勇太 （人文学部）	福澤諭吉と大隈重信：洋学書生の幕末維新 / 池田勇太著。― 山川出版社、2012. 5. ―（日本史リブレット人；076）。
池田勇太 （人文学部）	維新変革と儒教的理想主義 / 池田勇太著。― 山川出版社、2013. 10. ―（山川歴史モノグラフ；27）。
田中誠二 （人文学部）	萩藩財政史の研究 / 田中誠二著。― 塙書房、2013. 2.
林伸一 （人文学部）	外国人留学生のための特別支援プログラム実施報告書 / 林伸一研究室編；[1]。― 山口大学人文学部、2011.
林伸一 （人文学部）	外国人留学生のための特別支援プログラム実施報告書 / 林伸一研究室編；2. ― 山口大学人文学部、2012.
林伸一 （人文学部）	大学における日本語授業の活性化：構成的グループ・エンカウンターの実践研究 / 林伸一研究室編。― 山口大学人文学部、2011. 3.
馬彪 （人文学部）	秦汉豪族社会研究 / 马彪著。― 中国書店、2002. 12.
馬彪 （人文学部）	史記 / 饒宗頤名譽主編；馬彪導讀及譯注。― 中華書局、2012. 12. ―（新視野中華經典文庫）。

馬彪（人文学部）	内藤湖南の世界：亚洲再生的思想 / (日)内藤湖南研究会編著；馬彪等译。— 三秦出版社、2005. 11.
馬彪（人文学部）	秦帝国の領土経営：雲夢龍崗秦簡と始皇帝の禁苑 / 馬彪著。— 京都大学学術出版会、2013. 2.
馬彪（人文学部）	中国史学史 / (日)内藤湖南著；馬彪译。— 上海古籍出版社、2008. 6. — (日本中国史研究译丛)。
馬彪（人文学部）	中国中世社会与共同体 / (日)谷川道雄著；馬彪译。— 増订本。— 上海古籍出版社、2013. 12. — (日本中国史研究译丛)。
馬彪（人文学部）	中国中世社会与共同体 / (日)谷川道雄著；馬彪译。— 中华书局、2002. 12. — (世界汉学论丛)。
馬彪（人文学部）	漢書 / 饒宗頤名誉主編；馬彪導讀及譯注。— 中華書局(香港)(出版)。— (新視野中華經典文庫)。
南浦涼介（教育学部）	外国人児童生徒のための社会科教育：文化と文化の間を能動的に生きる子どもを授業で育てるために / 南浦涼介著。— 明石書店、2013. 12.
横田伸子（経済学部）	韓国の都市下層と労働者：労働の非正規化を中心に / 横田伸子著。— ミネルヴァ書房、2012. 10. — (現代社会政策のフロンティア；6)。
山本晴彦（農学部）	農作物の光害：光害の現状と新しいLED照明による防止対策 / 山本晴彦編著。— 農林統計出版、2013. 9.
山本晴彦（農学部）	満州の農業試験研究史 / 山本晴彦著。— 農林統計出版、2013. 3.
山本晴彦（農学部）	植物工場：現状と課題 / 山本晴彦編著。— 農林統計出版、2013. 11.
山本晴彦（農学部）	帝国日本の気象観測ネットワーク：満洲・関東州 / 山本晴彦著。— 農林統計出版、2014. 1.
山本晴彦（農学部）	平成の風水害：地域防災力の向上を目指して / 山本晴彦著。— 農林統計出版、2014. 2.
中間實徳（名誉教授）	新・小動物看護用語辞典。— 新版。— インターズー、2012. 4.
田中晉（名誉教授）	詩人スペンサーのころ / 田中晉著。— 開文社出版、2013. 11.

山口大学関係教員著作物コーナー

総合図書館1階では、本学教員著作物コーナーを設けています。

著作物を上梓されました際には、図書館に1部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

なお、ご寄贈いただいた著作物は、本学の蔵書検索システムに登録し、教員著作物コーナーに備え付けます。



平成 25 年度 会議・研修・人事等

◆会議（学外）

25. 4. 18-19 第 61 回中国四国地区大学図書館協議会総会 / 第 40 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会（於 高知大学）
25. 6. 20-21 第 60 回国立大学図書館協会総会 / 第 9 回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー（於 名古屋大学）
25. 10. 10-11 第 54 回中国四国地区大学図書館研究集会（於 岡山大学）
25. 11. 14-15 第 49 回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会（於 徳島大学）
25. 11. 15 平成 25 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議（於 高知大学）
25. 11. 29 平成 25 年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議（於 岡山大学）
26. 2. 28 平成 25 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会（於 岡山大学）

◆会議（学内）

- | | | | |
|---------|----------------------------|----------|----------------------------|
| 25.5.8 | 平成 25 年度第1回図書館専門委員会（メール審議） | 25.10.17 | 平成 25 年度第4回図書館専門委員会 |
| 25.5.23 | 平成 25 年度第2回図書館専門委員会 | 25.12.10 | 平成 25 年度第4回学術基盤資料検討専門部会 |
| 25.5.23 | 平成 25 年度第1回総合図書館部会 | 25.12.12 | 平成 25 年度第5回図書館専門委員会（メール審議） |
| 25.6.6 | 平成 25 年度第1回工学部図書館部会 | 25.12.13 | 平成 25 年度第2回医学部図書館部会（メール審議） |
| 25.6.18 | 平成 25 年度第1回医学部図書館部会 | 26.1.23 | 平成 25 年度第5回学術基盤資料検討専門部会 |
| 25.7.4 | 平成 25 年度第1回学術基盤資料検討専門部会 | 26.1.24 | 平成 25 年度第4回総合図書館部会（メール審議） |
| 25.8.8 | 平成 25 年度第2回総合図書館部会 | 26.2.24 | 平成 25 年度第6回図書館専門委員会 |
| 25.8.26 | 平成 25 年度第2回学術基盤資料検討専門部会 | 26.3.6 | 平成 25 年度第5回総合図書館部会 |
| 25.8.29 | 平成 25 年度第2回工学部図書館部会 | 26.3.11 | 平成 25 年度第7回図書館専門委員会（メール審議） |
| 25.9.3 | 平成 25 年度第3回総合図書館部会（メール審議） | 26.3.12 | 平成 25 年度第3回工学部図書館部会 |
| 25.9.26 | 平成 25 年度第3回図書館専門委員会（メール審議） | 26.3.18 | 平成 25 年度第3回医学部図書館部会（メール審議） |
| 25.10.3 | 平成 25 年度第3回学術基盤資料検討専門部会 | 26.3.27 | 平成 25 年度第8回図書館専門委員会 |

◆研修

25. 4 月-25. 10 月 平成 25 年度放送大学 参加者：森實彩乃
25. 5. 13-16 平成 25 年度新規採用職員研修（於 山口徳地青少年自然の家）参加者：岡崎聡志
25. 9 月-25. 11 月 平成 25 年度財務会計事務研修（簿記 3 級）（於 山口大学）参加者：川上誠、三芳一恒
25. 7. 24-26 平成 25 年度学術情報ウェブサービス担当者研修（於 九州大学）参加者：三芳一恒
25. 8. 28 平成 25 年度山口大学部課長級研修（於 山口大学）参加者：石橋英二、瓜生照久
25. 8. 28-30 平成 25 年度目録システム講習会（雑誌コース）（於 島根大学）参加者：隆野美雪
25. 9. 4 平成 25 年度山口大学副課長級研修（於 山口大学）参加者：永久英雄
25. 9. 12-13 第 5 回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー（於 広島大学）
参加者：森實彩乃、岡崎聡志、隆野美雪
25. 9. 25-27 平成 25 年度目録システム講習会（図書コース）（於 広島大学）参加者：白井裕美子
25. 10. 1 平成 25 年度新規採用職員フォローアップ研修（於 山口大学）参加者：岡崎聡志
25. 11. 6-8 第 33 回西洋社会科学古典資料講習会（於 一橋大学）参加者：大塚由希子
25. 11. 27-29 平成 25 年度山口大学中堅職員研修（於 山口大学）参加者：日高友江
25. 12. 5 平成 25 年度山口大学副課長級研修（於 山口大学）参加者：池田浩弥子

◆山口県図書館協会等

25.6.13	平成25年度第1回山口県大学図書館協議会幹事会（下関市立大学）
25.6.27	平成25年度第17回山口県大学図書館協議会総会（山口県立大学）
25.7.19	平成25年度山口県図書館協会理事会（山口県立山口図書館）
25.8.9	平成25年度山口県図書館協会総会（山口県立山口図書館）
26.2.6	平成25年度第2回山口県大学図書館協議会幹事会（山口大学）
26.3.25	平成25年度第3回山口県大学図書館協議会幹事会（山口大学）

◆人事

25.4.1			
採用	情報環境部長	石橋 英二	（東京学芸大学教育研究支援部学術情報課長）
採用	情報環境部学術情報課情報サービス係	岡崎 聡志	
昇任	理学部事務長	岡田 隆	（情報環境部学術情報課副課長）
配置換	情報環境部学術情報課資料契約係	川上 誠	（情報環境部学術情報課情報管理係）
在籍出向	国立山口徳地青少年自然の家総務・管理係長	楠 芳郎	（情報環境部学術情報課資料契約係資料契約主任）
帰任	情報環境部学術情報課副課長	永久 英雄	（徳山工業高等専門学校総務課課長補佐（会計担当））
25.7.1			
配置換	情報環境部学術情報課総務係長	水津 峰夫	（情報環境部情報推進課情報企画係長）
配置換	情報環境部学術情報課情報支援係長 （情報推進課システム第二係長併任解除）	河田 孝行	（情報環境部情報推進課システム第一係長） （情報推進課システム第二係長併任）
配置換	情報環境部学術情報課医学情報係長	村田 修	（情報環境部情報推進課情報基盤係長）
配置換	学生支援部学生支援課就職企画係長	阿品 賢宗	（情報環境部学術情報課総務係長）
配置換	情報環境部情報推進課システム第一係長 （情報推進課システム第二係長併任）	深川 昌彦	（情報環境部学術情報課情報支援係長）
配置換	情報環境部情報推進課情報企画係長	西垣 昇治	（情報環境部学術情報課医学情報係長）
26.3.31			
辞職	国立民族学博物館	亀井 耕治	（情報環境部学術情報課推進課長）

編集後記

山口大学図書館報 第86号をお届けします。さて、今回は、平成23年末に総合図書館の耐震改修に伴う増改築工事が決定され、平成26年4月に全面開館を迎えるに至った状況の特集しました。

巻頭の山内館長の紹介にもありましたが、改修により生まれ変わった総合図書館は、様々な学修スタイルに応える環境を整え、皆さまの利用をお待ちしています。また、学修のみならず研究会等のイベント会場としても利用できます。皆さまには、図書館のサービスと施設を、是非ご活用してくださることを願っています。

館報編集小委員会

山口大学図書館報 「Library News」 No.86

編集・発行 山口大学図書館

2014年10月30日発行 〒753-8511 山口市吉田1677-1

<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/lib-nws/> TEL. (083)933-5183 FAX. (083)933-5186